

令和元年 12 月 20 日

弓道 全国大会出場壮行会 校長あいさつ

弓道部の松岡君，野口君，金井君 全国大会出場おめでとう。

自転車競技部，ライフル射撃部に続く全国大会出場，大変な快挙です。

顧問の福永先生，野田先生，これまでのご指導ありがとうございます。

今年は「いきいき茨城ゆめ国体」での自転車競技部での全国優勝など，本校にとって大変大きな飛躍の年となりました。この流れが今後も続くことを祈りたいと思います。

さて，ここにいる3人は，全員1年次生です。以前にも，野球部の橋本君と塩月君の1年次生バッテリーがノーヒットノーランという大変見事な結果を残してくれたうれしい報告をしました。今年は，1年次生の活躍が目立ちます。嬉しいことです。

ところで，この弓道。私も大学の体育の授業で1年間体験しました。

今となってはすっかり忘れてしまいましたが，「足踏み」から始まる弓道の基本動作を「射法八節」と言います。なかでも，「中たる射」と「中てる射」を意識することが肝要だと言われているようです。

「正射必中」という言葉がありますが，これは「正しい射法で射られた矢は必ず中たる」という意味で，この射法が「中たる射」。弓道では理想の美しい中たりとされていると聞きます。

一方，「中てる射」は，中てることにのみ執着し，基本を無視した射方であり，手先の操作で的的中させる，いわば意図的に「中てた射」であって，的中しても，どちらかといえばあまりよい「中たり方」ではないようです。

このように考えると，弓道は，以前全国大会に出場したライフル射撃部と同様，メンタルの部分に大きく左右される競技であり，ましてや今回の全国大会は，より大きなプレッシャーの中での戦いが予想されます。しかしながら大事なことは，最後はこれまで自分がどれだけのことを積み上げてきたか，ということにつきると思います。

本校生らしい取一精神「力耕不吾欺」の誇りをもって，存分に活躍してきてください。皆様のご健闘を祈ります。結果に拘らず，全力を尽くしてきてください。